



ANNUAL REPORT 2024

活動報告書

2024.4 - 2025.3



一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）



もくじ

ご挨拶.....	P.3
2024 年度のトピック	P.45
会計のご報告	P.6-7
寄付のご報告	P.8-14
ピティナの活動について	P.15
事業のご報告	P.16-19
ビジョン・ミッション	P.20
ご支援のお願い	P.21-23



ご挨拶

2024年度の収支も何とか黒字の収支となりました（有価証券評価益除く）。少子化の影響によるピティナ・ピアノコンペティション参加人数の減少、人件費などの固定費の上昇といった逆風下でも黒字をあげ、公益事業を継続できているのは、会費や寄付によるピティナへのご支援をいただいているからで、大変嬉しく思っております。ご支援、ご協力くださっているすべての方に感謝申し上げます。

日本全体で今後も少子化の影響や物資や人件費の高騰が続くなか、音楽業界に限らず、苦境に立たされる企業は多いでしょう。審査員・アドバイザーの各地への派遣も交通・宿泊費が昨年より1,200万円ほど増え、今後もますます高騰が続くでしょう。そのような中で引き続き、ピアノ曲事典や音楽研究所、学校クラスコンサート、特級関連イベントのような公益事業を続けるためには、AIの活用による事務負担削減、それに伴い人員の見直しも必要になるでしょう。新たに利益を生み出す新規事業の開発も必要になり、新規事業開発ができる人材への投資も必要かもしれません。産みの苦しみが続く数年となりそうですが、ピティナのビジョンである「音楽がつなげる豊かな人生」実現のため、皆様と一緒に乗り越え、新しい価値創造で音楽業界の道を切り開きたいと考えています。

引き続き、お力添えのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 専務理事
福田成康



| 2024 年度のトピック

日中のピアノ指導者による交流会

2024年6月13日、ピティナとヤマハミュージックジャパン（鍵盤事業戦略部）の共同企画により、日中のピアノ指導者交流会が東音ホールで開催されました。中国から18名、日本から15名の指導者が参加し、映像や模擬レッスンを通じて活発な意見交換が行われました。中国側は、導入期に歌やダンス、即興を積極的に取り入れる創造的なアプローチを紹介し、日本側はコンクールを見据えた丁寧な個別指導の実例を提示。両国の異なる教育文化が交差することで、指導の多様性と新たな可能性が浮き彫りとなりました。音楽を通じた相互理解の深まりにより、「互いの教育法から学び合い、今後の国際的な連携を強化したい」との声が寄せられました。本交流会は、今後の持続的な国際協力の第一歩として、大きな意義を持つものとなるでしょう。



新しいステップのかたち ～准ステーション開催 サロン型ステップ～



2024年度より本格始動した「サロン型ステップ」は、ピティナ・ピアノステップの新たな取り組みで、参加者とアドバイザーの密な交流を目的としています。通常のステップと同様のルールと料金体系を維持しつつ、事前に提出された質問票を基に、講評時間中に個別の質疑応答を行う点が特徴です。アドバイザーが実際にピアノを用いて助言するなど、実践的なフィードバックが可能となり、参加者からは「直接的なアドバイスが貴重」「音の違いに気づけた」といった声が寄せられています。また、能登半島地震後の穴水地区での開催では、被災地の音楽活動再開の一助となり、地域復興への希望となりました。今後、サロン型ステップは、より深い学びと地域社会への貢献を期待される新たなステージとして、全国各地での展開が進められています。なお、2025年度から「サロン型ステップ」の開催は、「准ステーション」がメインとなります。今後、ステーションはもちろん、准ステーションに関わってくださる各地の指導者を増やし、より多くの様々な地域でのステップの開催をできればと考えております。



動画でも予選参加が可能に

2024年度のピティナ・ピアノコンペティションでは、ソロ部門A2級～F級およびデュオ部門（連弾）にて、全国を13ブロックに分けて動画予選を実施しました（通過者は実地開催する本選に合流）。動画での予選参加を受け入れることで、日程に都合がつかない方や近隣に会場がない方にも門戸を広げ、初めてのコンクール参加者が増えることを期待しています。申込は451組にものぼり、145名が初参加、また213名が初めて2地区「併願」し、コンクール挑戦の新たな選択肢を提供することができたと考えております。2025年度も引き続き実施いたします。



オンライン支部説明会

～支部と地域の指導者をつなぐ、音楽文化の活性化を目指す～



ピティナでは、全国 128 もの支部が地域音楽コミュニティとして機能しています。会員の約 7 割が支部に所属し、勉強会やコンサート、イベントなどを通じて、会員同士の交流を深め、音楽的な知識や経験を共有し、地域音楽文化の発展に貢献しています。そのような支部活動の魅力を知っていただく機会として、オンラインにて支部説明会を実施しました。

支部説明会参加者アンケートの結果からは、多くの参加者が説明会に満足され、支部活動への高い関心を示されていることが伺えました。「この機会に支部に所属したい」といった前向きな声が多く寄せられており、具体的な活動内容や参加方法に関する質問も多く見られました。

支部活動は、会員の皆様の音楽生活を豊かにするだけでなく、地域における音楽文化の活性化にも不可欠な存在であり、今後も説明会を開催し、支部活動の活性化と地域の指導者の交流を目指します。

ピアノメーカーとのコラボ勉強会

ピアノ市場とピアノ文化の益々の発展を願い、国内二大ピアノメーカーである、ヤマハとカワイ、それぞれの販売活動を担う方々による勉強会を実施しました。

10月4日（金）、ヤマハ株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン協力により、ヤマハ掛川工場にて実施。全国各地よりヤマハピアノを販売するピティナ支部楽器店の担当者、計 27 支部が参加し、工場見学やグループディスカッションを通じて、ヤマハピアノへの理解を深めるとともに、支部活動・販売活動について精力的な意見交換や交流の場となりました。

10月9日（水）には、株式会社河合楽器製作所とのコラボ企画として、浜松市の呉竹荘にて実施。カワイ全 11 支店の支店長、販売担当者、計 25 名が参加し、各拠点での外販活動やサロン、ショールームを活用したピアノ販売促進策の事例紹介が行われ、グループディスカッションでは活発な意見交換やアイデアが共有されました。

この勉強会の最大の意義は、ピアノ業界の各関係者が連携を深め、情報交換を通じて共通の課題解決と音楽文化の発展に貢献する点にあります。指導者、楽器店、メーカーが協力体制を築くことで、ピアノの拡販と市場全体の活性化が期待されます。



2024 年度特級グランプリ

ピティナ・ピアノコンペティションの最上位に位置する「特級」。2024 年度は、南杏佳さんがグランプリを受賞されました。南さんにとっては 2024 年度で 5 度目の挑戦。高校生時代から挑戦し、ボストン留学も経験されています。

ピティナ本部主催の「特級ガラコンサート」「入賞者記念コンサート」をはじめ、全国各地の支部・ステーション主催による入賞者記念コンサートや、高知市の「学校クラスコンサート」にも派遣されるなど、すでに実施済み・派遣決定済みのイベントは 40 にものぼります。地元のみならず、様々な地域に演奏を届け、「南さんのようにピアノが上手になりたい」という憧れの存在となり、音楽を通じて地域を活性化させるだけでなく、次世代へと音楽の情熱をつないでいきます。

特級グランプリは、「わたくしたちの顔」でもあります。会員のみなさまには、ぜひ、今後も毎年の特級グランプリの活躍を見守り、応援いただければ幸いです。



詳細は[こちら](#)



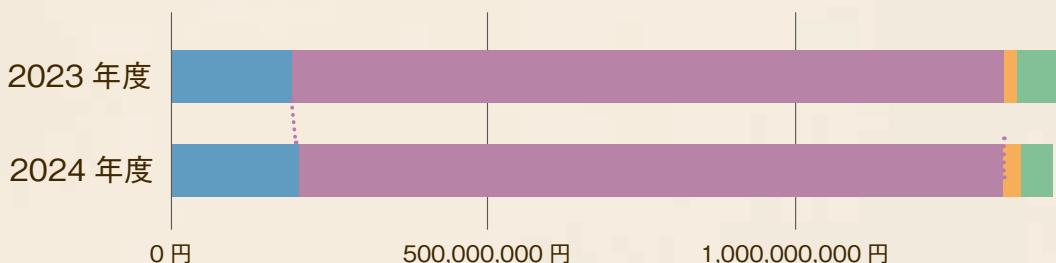
会計のご報告

収入 1,358,680,721 円

コンペティションで動画予選を開始し、新規参加層獲得の工夫は行いましたが、少子化の波は大きく、全体の参加人数は減少してしまいました。ただ、ステップの参加人数は昨年より増えており、サロン型ステップの可能性を感じています。また、会費の収入は増えています。大きな収入源であったコンペティションの参加人数の減少は今後も続くと予想されます。ステップや提携コンクールで新規層の開拓をはかりつつ、新たに収入源となる新規事業の開発が急務となっています。

会費・入会費	154,079,000 円
事業収益	1,167,670,356 円
寄付金	8,939,571 円
雑収入・運用益	27,991,794 円
合計	1,358,680,721 円

■会費・入会費 ■事業収入 ■寄付金 ■雑収入・運用益等



助成金、補助金の活用

事業収入だけでは、公益性の高い事業の継続が難しくなりつつあります。ステップにて、無料で一般公開されている「トークコンサート」は、公益財団法人 JKA から 8,383,422 円の補助金を受け、実施しています。また、特級グランド・コンチェルトも令和 6 年度文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業）として 1,247,000 円を得ることができました。今後もこういった助成金、補助金の活用を進めてまいります。

支出 1,358,415,887 円

皆さまのご支援および事務局員の支出を減らす工夫もあり、黒字の収支になりました。人件費、郵送費、資材、旅費交通費などあらゆるものが高騰していますが、事業収益は減少しており、さらなるコスト削減とより効率的な収益の向上—「稼ぐ力」が必要です。AI の台頭により、文章の下案作成、リライトやデータ分析をはじめ、プログラミングもプログラマーのような専門職の手を介さずに、非常に速いスピードで進めることができるようになりました。今後は、ますます AI を上手に使いこなし、人の作業を減らすことによるコスト削減が必要になるでしょう。現在、事務効率化のために、システム投資も行っています。引き続き、厳しい経営が予測されますが、様々な工夫を凝らし、乗り越えてまいります。

研修:セミナー・e ラーニング・入賞者記念コンサート・トークコンサート等	47,583,607 円
検定コンペ:コンペティション・ステップ・指導者ライセンス・提携コンクール等	853,542,822 円
出版:アナリーゼ楽譜・ミュッセ等	4,970,339 円
その他収益事業	170,413 円
調査研究費:教室紹介・ピアノ曲事典・調査研究等	8,052,109 円
公益事業:学校クラスコンサート・寄付広報等	1,330,879 円
会員:会報・組織運営等	29,619,685 円
音楽教育研究所	6,838,882 円
共通経費(人件費等)	328,422,268 円
管理費	77,884,883 円
合計	1,358,415,887 円

■研修 ■検定・コンペ ■出版 ■調査研究費 ■会員 ■共通経費(人件費等) ■管理費 ※経常費用のみ取り出して昨年度と比較しております。



収支(評価損益調整前経常増減額) 264,834 円

貸借対照表要旨

単位：円

科目		当年度金額
資産の部	1. 流動資産	現金預金 有価証券 未収金・その他
		53,841,513
	2. 固定資産	基本財産 特定資産 その他固定資産
		100,000,000 143,070,138 46,576,585
		資産合計
		1,147,363,996
負債の部	流動負債	前受金 未払金・その他
		95,321,883
		負債合計
正味財産の部	1. 指定正味財産	受取寄付金 (うち基本財産への充当)
		10,000,000 10,000,000
		(うち特定資産への充当) 0
	2. 一般正味財産	一般正味財産 (うち基本財産への充当)
		90,000,000
		(うち特定資産への充当) 143,070,138
		正味財産合計
		843,193,039
		負債および正味財産合計
		1,147,363,996

正味財産増減計算書要旨

単位：円

I: 一般正味財産増減の部	
経常増減の部	1. 経常収益
	会費・入会費
	事業収益
	寄付金
	雑収入・運用益
	経常収益計
	1,358,680,721
	①
	2. 経常費用
	事業費（直接経費）
経常外増減の部	研修
	検定コンペ
	出版
	その他収益事業
	調査研究費
	公益事業
	会員
	音楽教育研究所
	共通経費（人件費等）
	管理費
	経常費用計
	1,358,415,887
	②
	評価損益調整前経常増減額（①-②）
	264,834
	③
	有価証券評価損益
	-12,683,826
	④
	当期経常増減額（①-②+③）
	-12,418,992
法人税・住民税・事業税	1. 経常外収益
	0
	⑤
経常外増減の部	2. 経常外費用
	0
	⑥
当期一般正味財産増減額（④+⑦-⑧）	当期経常外増減額（⑤-⑥）
	0
	⑦
一般正味財産期首残高	当期一般正味財産増減額（④+⑦-⑧）
	-12,488,992
	⑧
一般正味財産期末残高	一般正味財産期首残高
	845,682,031
	⑨
一般正味財産期末残高（⑨+⑩）	一般正味財産期末残高（⑨+⑩）
	833,193,039
	⑩

II: 指定正味財産増減の部	
基本運用益	12,830
受取寄付金	0
一般正味財産への振替	12,830
当期指定正味財産増減額（⑪+⑫-⑬）	0
⑭	⑮

指定正味財産期首残高	10,000,000
指定正味財産期末残高（⑯+⑰）	10,000,000

正味財産期末残高（⑪+⑰）	843,193,039
---------------	-------------

※ 2025年5月時点：2025年6月の総会にて承認をいただきます。お手元に届いた時点では仮の状態です。正式決定後、ピティナウェブページに掲載されます。

| 寄付のご報告

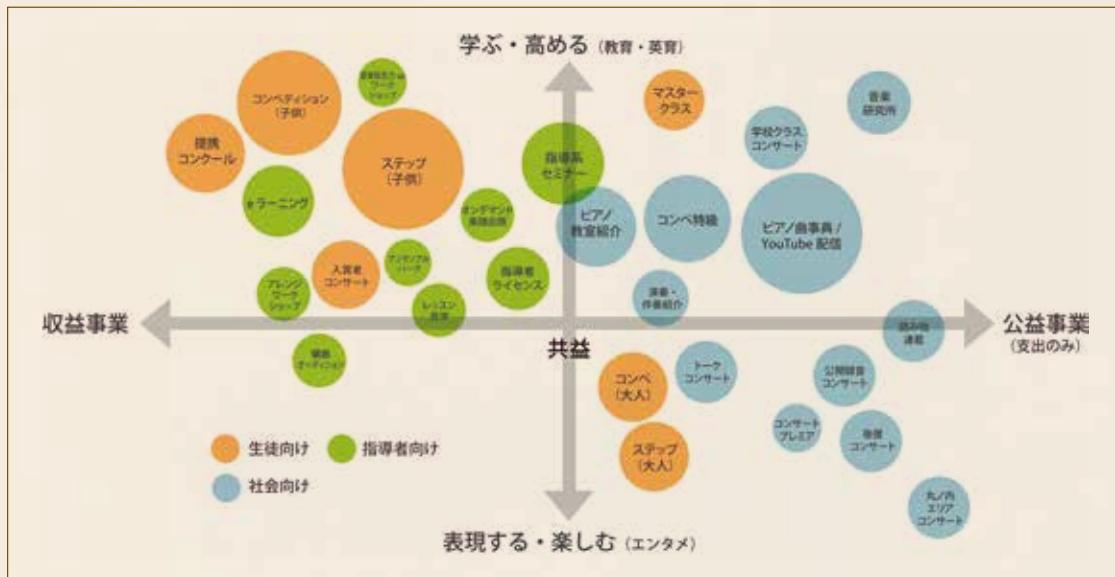
ピティナでは、コンペティション、ステップなどの事業および会費で得た収益を公益性の高い事業へとまわし、無料で利用できる「ピアノ曲事典」「ピアノ教室紹介」のサービスのほか、「学校クラスコンサート」「特級イベントの配信、運営」が成り立っています。事業収益だけでなく、企業協賛・助成金・寄付などでも運用が可能なように、2024年度は、指導者賞および恒常に募っている寄付を、「ピアノ曲事典、調査・研究、音楽研究所」「学校クラスコンサート」「ピアノ教室紹介」「特級」「公益社団法人福田靖子賞基金」に絞りました。

続くページでは、「ピアノ教室紹介」「学校クラスコンサート」「ピアノ曲事典、調査・研究、音楽研究所」の報告と今後どのように寄付をご利用させていただかに触れてまいります。



寄付者一覧

事業マップ



既存の事業のポジショニングと事業規模を整理したマップです。主に左上の象限の収益（コンペティション・ステップなど）と会費の活用により、青色の公益性の高い事業が発展してきました。今後は、さらに右側の公益事業の発展を目指し、事業収益と会費だけでなく、企業協賛・助成金・寄付などの資金調達にも力を入れてまいります。

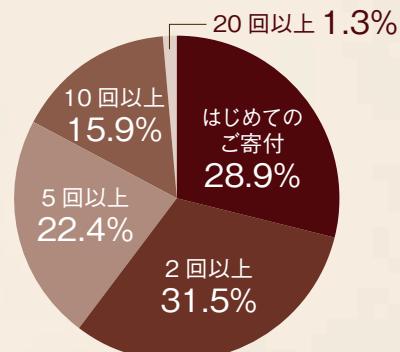
支援先事業内訳

支援先事業	金額	件数
2024年特級クラウドファンディング	3,650,000円	247
ピアノ教室紹介	1,257,746円	255
一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（事業指定なし）	2,149,625円	10
ピアノ曲事典、調査・研究、音楽研究所	887,800円	89
学校クラスコンサート	193,400円	19
ピアノコンペティション特級	105,000円	2
公益財団法人福田靖子賞基金（ピティナ経由）	344,300円	36
褒賞（ヒノキ新薬様）	400,000円	1
合計	8,987,871円	659

2023年度より、クラウドファンディングの金額は減り、また全体の寄付件数も減っているのですが、合計では、100万円ほどプラスになっています。個人から200万円のご寄付1件を頂戴したためです。長年にわたり信念を持って進めてきたピティナの活動を力強く後押ししていただいたようで大変ありがとうございます。

支援者について

大変ありがたいことに、複数回に渡ってピティナにご寄付いただいた方が半数以上を占めています。中には、40回目のご寄付をいただいた方もいらっしゃいます。日頃からのご支援に、心より御礼申し上げます。



ピアノ教室紹介



ピアノを習いたい方と、生徒募集中のピティナ会員のピアノ教室との出会いを、専属の仲介スタッフが無料でお手伝いする「ピティナ・ピアノ教室紹介」。

ウェブサイト上のサービスであるため、多くの方に目に触れるための対策は不可欠です。以前はウェブサイトの検索エンジン対策を中心に行っておりましたが、昨今のメディアの変化を踏まえ、現在はInstagramを入口とした導線強化に注力しています。

2024年度には、皆さまから頂戴したご寄付の一部を活用し、イメージ画像を刷新いたしました。カメラマン、モデル生徒、デザイナーを起用し、団体会員である株式会社長谷工不動産様のご協力を得ながら、より魅力的な画像制作に取り組んでいます。

今後も、より多くの方に「ピアノ教室紹介」をご利用いただき、ピアノ教室と生徒をつなぐことができるよう、社会の変化に合わせた広報活動とシステム構築に尽力してまいります。



利用者からのコメント



引っ越し後、土地のことが全く分からず、頼れる知り合いもない状況でしたが、すぐに素敵なピアノ教室と出会うことができ、本当に助かりました。Google検索では見つけられなかつた教室なので、紹介を利用してよかったです。



自宅近くの教室を、スタッフの方と相談しながら複数見つけられました。

先生を探しやすかったです。どのように先生に連絡すれば良いか教えてくれたので、体験から申し込みまで大変スムーズでした。



希望する先生にすぐに連絡を取ることができます。大変感謝しています。担当スタッフの方がこちらの状況を前もって先生に伝えてくださっていることも大変助かります。



スタッフの方の迅速な対応のおかげで、子どもの「早くピアノを始めたい!」という気持ちを待たせることなく、すぐにレッスンを始めることができました。

学校クラスコンサート



実施校数

54 校

参加児童数

4,006 名

参加アーティスト

35 名

(楽器: 10種類)

実施自治体

19 市町村

小学校の音楽室へコンサートを届けます。近い距離で生の演奏を体験し、楽器の周りに集まったり演奏者と共に演じるなど、子どもたちの発見と感動を促し豊かな音楽体験を育みます。2005年創設から20年間で、参加児童数は通算で14.5万人に達しました。

いただいたご寄付は、学校クラスコンサートのアーティスト派遣、プログラム、レポート、パンフレットなど広報物の作成費用の補助として大切に使わせていただきます。

今後もより多くの地域の学校に音楽を届け、演奏者と生徒をつなぐのみならず、音楽文化を広め、人生に豊かな彩りを提供できるように努めてまいります。



レポートはこちら

学校の感想より

- 演奏者の弾く姿を食い入るように見つめている子どもたちの姿は、どんな言葉よりも音楽の素晴らしさや楽しさを感じ取ったこと思います。(高知市)
- 楽しく惹き込まれ、自然に思ったことを声に出して拍手をしていました。一流の演奏が気負わずに聴ける、けれども演奏のよさに自然にひき込まれ、心が満たされる、幸せな45分になりました。(豊前市)
- クラシック音楽に触れる機会は鑑賞の授業のCDくらいで、生演奏を聴くことに馴染みのない子がほとんどですが、今回のコンサートでは、音楽に興味があった子も、そうでなかった子も、全員が夢中で演奏を聴き、音楽を味わっている姿がとても印象的でした。目の前で素敵な生演奏を聴いたことはもちろんですが、演奏中の楽器の響きを体感したり、演奏中の姿や息遣い、空気を間近で感じることができたり、プロの生伴奏で校歌を歌えたり、子どもたちにとって、デジタルではない「生の音楽のよさ」を、肌で感じ、存分に味わうことのできる非常に貴重な経験ができたこと思います。(久喜市)

参加児童の感想より

ピアノ曲事典



新規音源（動画）数

1,603 件

新規人物情報数

736 件

web アクセス数

601 万ページ

YouTube 再生数

2,144 万回

ピアノに携わる方々・音楽愛好家のため、人物や楽曲、関連コンテンツの情報を網羅的に提供するオンラインデータベースです。ピアノ学習者・指導者・演奏家をはじめ、音楽業界との互恵関係を築いてきました。2002年の整備開始から20年を超え、世界有数のクラシック音楽データベースへと成長しています。

2024年度は、過去のコンペ課題曲や子ども向け作品の解説文を拡充し、多数の演奏動画も登録。過去最速の整備スピードを記録しました。2025年5月20日には初の試みとして、昨年度ご寄付いただいた方々に向けてオンラインで活動報告会を開催。編集長より成果や展望を共有し、参加者からも貴重なご提案をいただきました。

今後の重点目標は作品コードの普及です。ピティナの各種事業での活用を皮切りに、音楽業界全体でのコード活用を目指します。また、国際化（英語）やAI技術の進展に応じた改良も進め、さらなる音楽情報へのアクセスを増やし、より多くの人と音楽をつないでまいります。



調査・研究



新規公開記事

95 記事

ウェブサイトの読み物コーナーは2003年にはじまって以来、30を超える連載記事を掲載し、そのうちのいくつかは書籍としても出版されています。また、会員による音楽実践のレポートや活動報告を「トピックス」や「会員・会友コラム」として紹介しています。

2024年度は新連載として厚地とみ子氏（正会員）による『今、悩める若手指導者へ伝えたい』、松原聰氏（正会員）『世界のピアノの名器たち』を開始したほか、「会員・会友コラム」として、林川崇氏（演奏会員）によるブルクミュラーのレポート、杉浦菜々子氏（正会員）による日本人作品についてのインタビュー・エッセイを掲載しました。また、連載『Enjoy! Piano』では、俳優の松下奈緒氏をはじめ各界でご活躍の方々に取材を行い、ピアノとのかかわりを記事にまとめました。

今後も、専門的な内容、指導に直接役立つ内容から一般向けの読み物まで、バランスよくお届けしてまいります。

音楽研究所



ピティナ音楽研究所、正式名称「一般社団法人全日本ピアノ指導者協会ピティナ音楽研究所、英名：PTNA Research Institute of Music (PRIM)」には、現在5名の非常勤研究員が所属しています。

2024年度から協力研究員として加わった菅沼起一氏（音楽学・リコーダー）、松川亜矢氏（音楽教育学）は、ウェブサイト上で毎月研究成果を報告しています。専務理事の福田成康も協力研究員として加わり、国際学会で発表し、論文を投稿しました。2024年12月には音楽情報学を専門とする中村栄太氏が着任しました。

毎年行っている研究成果報告会は、それぞれ音楽学・音楽教育学・情報学を専門とする研究員が報告を行い、外部からも研究者が集まる学際的な交流の場となっています。引き続き、音楽研究を通してピティナ、ひいては広く社会に貢献することを目指します。



詳細はこちら



特級クラウドファンディング

2024年度は特級ファイナルの当日に寄付者の方に参加いただける「体験型リターン」を設置。2018年特級グランプリ角野隼斗さん所有のアップライト「かていんピアノ」の秘話を聞き、演奏できる企画、また大ホールのゲネプロ見学には過去特級グランプリの関本昌平先生、菅原望先生が駆けつけ、ご自身の経験談や見学のポイントをお話いただきました。また初の「寄付者の集い」を開催。2023年度、2024年度のクラウドファンディング支援者30名以上の皆様がブルーローズ（小ホール）に集い、2023年度特級入賞者4名それぞれから御礼の言葉が贈られました。



クラウドファンディングのご支援

支援総額：3,650,000円／支援件数：247件／達成率：202%

2024年は「ピアニストの演奏はいつか社会へ、そしてあなたのものとへ」という想いのもと、4回目となる特級クラウドファンディングに挑戦しました。のべ247名の方にご賛同いただき、総額3,650,000円のご支援を賜りました。これまでののべ支援者数も1,000名を超え、多くの皆様がこのプロジェクトを通して応援の気持ちを寄せていただいたことに、心より感謝いたします。



報告ページ

各地での入賞者の活躍

全国のピティナ・ピアノコンペティションを開催する支部では、地域の子どもたちが次のコンペティションへのモチベーションを高められるようにと、前回の入賞者たちのお披露目をする入賞者記念コンサートを開催し、特級入賞者たちが「先輩ピアニスト」として招聘されます。



今年も10月から1月までに特級グランプリの南杏佳さんが6支部（岡山、岡崎、日比谷、諫訪、高知、松山）、特級銀賞の山本悠流さんが沖縄支部、特級入賞の大山桃暖さんが甲子園支部の入賞者記念コンサートへ派遣され、ゲスト演奏やサイン会などで地域の指導者、学習者たちと交流を深めました。また、12月には2023特級グランプリの鈴木愛美さんが大阪府箕面市の母校に、1月には南杏佳さんが高知市へ学校クラスコンサートを届けに行きました。これらの派遣にかかる入賞者の交通宿泊費は、特級クラウドファンディングから充当させていただいております。2月からもさらに多くの地域での入賞者記念コンサートや学校クラスコンサート、海外マスタークラスへの派遣が決まっています。



クラウドファンディングの活動報告ページでは、入賞者たちの各地での活躍を引き続きレポートしてまいりますので、楽しみにお待ちください。



クラウドファンディング企画・寄付者の集い

2024年度は特級ファイナルの当日に寄付者の方に参加いただける「体験型リターン」を設置。2018年特級グランプリ角野隼斗さん所有のアップライト「かていんピアノ」の秘話を聞き、演奏できる企画、また大ホールのゲネプロ見学には過去特級グランプリの関本昌平先生、菅原望先生が駆けつけ、ご自身の経験談や見学のポイントをお話いただきました。また初の「寄付者の集い」を開催。2023年度、2024年度のクラウドファンディング支援者30名以上の皆様がブルーローズ（小ホール）に集い、2023年度特級入賞者4名それぞれから御礼の言葉が贈られました。



特級とは

ピティナ・ピアノコンペティションの最高峰「特級」は、年齢不問で、国際舞台を目指すピアニストが挑むステージです。課されるのは、リサイタル形式の演奏や新曲課題、協奏曲の共演など、世界のコンクール水準のプログラム。特級グランプリ受賞者には、演奏活動の支援や国際舞台への架け橋となる機会を提供し、音楽家としての未来をともに切り拓いていきます。また本選は、聴衆賞やオンライン投票などを通じて、観る人・聴く人が主役になれる、新しいクラシック音楽体験の場でもあります。2023年度グランプリ・鈴木愛美さんが、2024年浜松国際コンクールで日本人初の優勝を飾るなど、入賞者の活躍は国内外に広がっています。

特級クラウドファンディング ~資金活用のご報告~

◆入金

2024 特級クラウドファンディング	3,650,000 円
2023 特級クラウドファンディング繰越金	337,600 円
クラウドファンディング手数料	-620,500 円
追加寄付金 アレキサンダー恵子	100,000 円
利用可能額	3,467,100 円

◆出金

使途	金額
オンライン賞賞金	1,150,000 円
ライブ配信補助費 特級二次・三次・セミファイナル・ファイナル	606,934 円
リターン製作費	300,000 円
国内・海外活動サポート費・コンサート配信費 ※	1,126,927 円
合計	3,183,861 円

活動支援の使途（※の内訳）

日付	使途	金額
2024/8/30	特級グランド・コンチェルト 2024 (収録費一部)	配信 100,000 円
2024/10/18	株式会社IHI 第2回IHIピアノコンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:南 杏佳 27,074 円
2024/10/20	スタインウェイ&サンズ東京 特級入賞者スペシャルコンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:4名)	派遣:南 杏佳、山本 悠流、塩崎 基央、大山 桃暖 68,083 円
2024/10/20	特級入賞者スペシャルコンサート (収録費一部)	配信 70,000 円
2024/10/27	岡山支部 入賞者記念コンサートゲスト 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:南 杏佳 7,370 円
2024/11/4	岡崎支部 入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:南 杏佳 23,616 円
2024/12/16	箕面市立豊川南小学校 学校クラスコンサート 交通費 (派遣人数:1名)	派遣:鈴木愛美 14,239 円
2024/12/21	日比谷支部 入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:南 杏佳 27,058 円
2024/12/21	IMA クラシックコンサート (収録費一部)	配信 20,000 円
2024/12/22	諫訪支部 入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:南 杏佳 27,132 円
2024/12/22	沖縄支部 入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:山本 悠流 84,820 円
2024/12/28	宝塚支部 入賞者記念コンサート 交通費 (派遣人数:1名)	派遣:鈴木愛美 28,730 円
2025/1/25	甲子園支部 入賞者記念コンサート 交通費 (派遣人数:1名)	派遣:大山 桃暖 1,240 円
2025/1/25	松山支部 入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:南 杏佳 28,330 円
2025/1/26	高知支部 入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:南 杏佳 24,610 円
2025/1/27	高知市立小高坂小学校 学校クラスコンサート 交通・宿泊費	派遣:南 杏佳、山本 悠流、塩崎 基央、大山 桃暖 91,475 円
2025/2/11	特級ガラコンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:4名)	配信: 10,000 円
2025/2/11	特級ガラコンサート (収録費・ライブ配信費一部)	派遣:南 杏佳 34,310 円
2025/2/23	鳥取県支部 入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:南 杏佳 22,078 円
2025/2/24	金沢西支部 入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:山本 悠流 53,680 円
2025/2/23	愛媛県支部 入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:尾城杏奈 52,690 円
2025/2/24	福井支部 入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:山本 悠流 87,602 円
2025/2/23	道央胆振支部 入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:山本 悠流 13,150 円
2025/3/1	静岡支部 入賞者記念コンサート 交通費 (派遣人数:1名)	派遣:山本 悠流 1,240 円
2025/3/16	町田支部 入賞者記念コンサート 交通費 (派遣人数:1名)	派遣:山本 悠流 46,750 円
2025/3/20	倉敷支部 入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	派遣:塩崎 基央 5,390 円
2025/3/23	町田支部 入賞者記念コンサート 交通費 (派遣人数:1名)	派遣:南 杏佳 42,260 円
2025/3/23	入賞者記念コンサート 交通・宿泊費 (派遣人数:1名)	配信: 70,000 円
2025/3/23	入賞者記念コンサート (収録費一部)	派遣:南 杏佳 44,000 円

その他、演奏者地元への派遣

日付	使途	対象者
2025/1/19	公益財団法人富田林市文化振興事業団 褒賞コンサート 交通費 (派遣人数:1名)	派遣:南 杏佳
2025/2/11	名古屋栄支部 入賞者記念コンサート 交通費 (派遣人数:1名)	派遣:神原雅治

◆残高

残高	283,239 円
----	-----------

※ 2025年3月末時点

会費について～会員からのご寄付～

会費総額 154,079,000 円 会員数 18,037 名 新規会員数：1,224 名

「音楽がつなげる豊かな人生」をビジョンに掲げている私共の活動にご賛同、ご支援賜り、誠にありがとうございます。会費は、私共への寄付ととらえております。会費自体は 2024 年度と比較して、909,000 円増となり、特に正会員受取会費が増えております。皆さまのご負担にならない範囲でどういった支出が減らせそうかを検討し、郵送でお送りしていた書類の一部をメールでの送信に変更いたしました。

会員の皆さまには、コンペティション、ステップ、提携コンクールの運営や支部・ステーション活動、勉強会の実施、アドバイザーやご審査、講師、委員会などにお力添えいただき、誠にありがとうございます。ピティナという組織は、会員の皆さまによって形作られ、彩られています。今後も変わらぬお力添えをいただけますと幸いです。



令和 6 年能登半島地震災害義援金のご報告

令和 6 年能登半島地震災害義援金として、合計：4,927,754 円／199 件の寄付を集め（2025 年 3 月末日時点。末日をもって募集を締切）、穴水ラベンダーステーション・のと七尾ステーションの 2 ステーションにそれぞれに送金いたしました。（ピティナのマッチング寄付額は、1,001,951 円）

皆さまのあたたかいご支援に心より御礼申し上げます。日本は災害の多い国です。どこかで助けが必要な場合は助け合える組織を引き続き目指してまいります。



団体会員～団体会員からのご寄付～

団体会員としてピティナの活動を支えてくださっている団体の皆様に、心より御礼申し上げます。2024年度は、新しく3社／団体がご入会くださいました。

■楽器



株式会社
ヤマハミュージックジャパン



株式会社
河合楽器製作所



ローランド株式会社



スタインウェイ・ジャパン
株式会社



ファツィオリジャパン
株式会社



株式会社
ベヒュタイン・ジャパン



カシオ計算機株式会社



株式会社コルグ



株式会社ひらせ



鈴木楽器販売株式会社



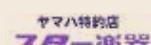
株式会社川本ピアノサービス



ピアノバンク株式会社



株式会社山響楽器店



スター楽器株式会社

■音楽大学



学校法人
国立音楽大学



学校法人東京聖徳学園
聖徳大学



学校法人三室戸学園
東邦音楽大学



学校法人東成学園
昭和音楽大学



学校法人武蔵野音楽学園
武蔵野音楽大学



学校法人朋学園
名古屋音楽大学



学校法人大阪音楽大学



学校法人御船学園
平成音楽大学



学校法人
エリザベト音楽大学



学校法人金城学院
金城学院大学



学校法人須賀学園
宇都宮短期大学



学校法人名古屋自由学院
名古屋芸術大学



学校法人東京音楽大学

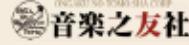


学校法人桐朋学園
桐朋学園大学

■楽譜



株式会社全音楽譜出版社



株式会社音楽之友社



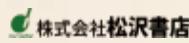
株式会社 Gakken
Gakken



株式会社ヤマハミュージック
エンタテインメントホールディングス



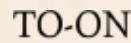
株式会社
リットーミュージック



株式会社松沢書店



株式会社春秋社



株式会社東音企画



株式会社
ドレミ楽譜出版社

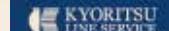
■企業・音楽団体・その他



株式会社アコースティック
デザインシステム



株式会社カナオカ工芸



共立ラインサービス
株式会社



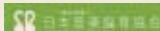
ヒノキ新薬株式会社



Piascore 株式会社



FineAllies
(ファインアライズ) 株式会社



一般社団法人
日本音楽脳育協会



一般社団法人
日本弦楽指導者協会 (JASTA)



特定非営利活動法人
リトミック研究センター



リトルピアニスト
株式会社



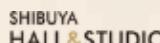
かすみミュージックスクール



一般社団法人
日本ピアノ調律師協会



一般社団法人
日本音楽療法学会



株式会社シブヤ
渋谷ホール＆スタジオ



公益財團法人音楽文化創造



株式会社長谷工不動産



一般社団法人
日本こども音楽教育協会



公益財團法人
ソニー音楽財團



TWEED DRESS
株式会社ツイード



株式会社
アール・エイチ・ワイ



株式会社ワールドスタンダード



株式会社力匠



スペシャルヴェニュー
国際音楽コンクール

| ピティナの活動について

ピティナは「一般社団法人」であり、定款にて「ピアノを中心とした音楽指導者の資質向上を通じて音楽教育の振興につとめ、もって広く文化の発展に寄与すること」を目的に活動することと定めています。2022年度には、「音楽がつなげる豊かな人生」というビジョンも掲げました。全国の楽器店のほか地域のピアノ指導者が主体となって、ピティナの様々な活動を支えてください、一般社団法人としては類をみないほどの多岐に渡る事業を展開できています。ここからは、それぞれの事業とミッションを結びつけながらご紹介します。

1. 指導者が共に学び続ける場をつくる

コンペティション、ステップ、提携コンクールはともすればピアノ学習者にフォーカスされがちですが、ピアノ指導を磨くための場でもあります。審査員、アドバイザーを経験された方々からは、たくさんの演奏を聴き、コメントを書くことで学びが深まり、指導にも活きているという声を頂戴します。また、コンペティションやステップに生徒を参加させたときの周りのピアノ学習者のレベルに圧倒され、自身のピアノ指導を変えるきっかけとなったという声をいただくこともしばしばです。

コンペティションやステップでの学びを下支えするのが、セミナーやeラーニング、指導者ライセンスなどのセミナー事業です。いつでもどこでも学べる環境の提供が、ピアノ指導者の日々の研鑽を支えています。

2. 未来を拓く人をそだてる

特級グランプリは様々な国際コンクールのみならず多方面の分野で高い評価を受けています。また、ピアノ学習者はその後も多方面で学んだ力を發揮する人が多いように思えます。ピアノを学習することで得る力をこれからも発信できればと考えています。

クラウドファンディングは引き続き活用し、ピアノ学習者への応援や支援の循環の輪を広げてまいります。

3. 地域コミュニティをつくる

地域にはそれぞれ特色があり、それぞれの課題があります。オンラインを取り入れながら、地域をつなぎ、得た知見を共有できれば、それぞれの地域はより活性化されるでしょう。審査員、アドバイザーの各地への派遣、交流もその一環です。地域同士の交流を促しながら全体として活性化されるように引き続き努めてまいります。

4. 時代の変化をとりいれる

AIの技術発展が目覚ましく、最近では検索してもまずはAIの回答が表示されるようになりました。文章にとどまらず、画像や動画、さらには音楽までAIが生成できるようになり、人間が物を作ることの価値や、表現する意味そのものが問いかかれられています。業務改善の手段としてはもちろん、ピアノ学習や指導の現場でどのように活用していくかという視点からも、AIの取り入れ方を模索してまいります。



| 事業のご報告

コンペティション



指導者数

4,692名

協力審査員数

のべ844名

予選参加組数

のべ約27,768組

予選～本選地区数
(全47都道府県)

344地区

「生徒と指導者が共に成長するコンクール」として、各段階のピアノ学習者に、精選された四期（バロック・クラシック・ロマン・近現代）の課題曲を学ぶことによるステージ体験を提供しています。また、その背後でサポートをしているピアノ指導者には、各々の指導カリキュラムの根幹を支える総合的・網羅的な知識・経験の向上の機会を提供しています。



2024年度は、予選264地区、本選80地区、全国大会14地区的規模で行われ、27,768人／組（予選）の参加者の皆様にご活用いただきました。新たな試みとして、全国を13ブロックに分けた動画予選を実施、451組が参加しました。上位級であるG級～特級（112.4%）で大きく参加数を伸ばしたほか、グランミューズ部門は1,661組と過去最多数を更新しました。

2025年は「弾く力」「聴く力」「調べる力」「考える力」「やり抜く力」「続ける力」を育む“総合学習型コンクール”であることを打ち出しています。すべての世代にとって、挑戦と発見のある場であり続けることを目指し、次なるステージへ歩みを進めます。

後援：文部科学省、東京都（全国大会）

褒賞協力：ヒノキ新葉、スタインウェイ・ジャパン株式会社、公益財団法人福田靖子賞基金

ステップ°



指導者数

5,790名

協力アドバイザー数

のべ788名

参加組数

のべ42,921組

地区数

624地区

協力支部・ステーション数

517

他人との比較や順位による評価は行わず、一人ひとりの音楽との向き合い方をサポートする、すべてのピアノ学習者・愛好家のための公開ステージです。生涯学習を後押しする仕組みとして、演奏技術の良否ではなく「ピアノを続けること」を表彰する独自の「継続表彰」制度があります。また、ステップでは、「アドバイザー」と呼ばれる指導者・演奏家が各地に派遣され、出演者全員の演奏に対してコメントシートが贈られます。各地の指導者が全国を行き交うこの仕組みが、地域間のピアノ・音楽関係者のつながりを生み出しています。

アドバイザーはコメントを贈るだけでなく、ステップの中で入場無料で開催するコンサート（「トーケンコンサート」）や参加者のレッスンを実施することもあります。さらに、2024年度からは新たに、アドバイザーと出演者が交流する時間を重視する「サロン型ステップ」も登場しました。演奏だけでなく、アドバイザーとの関わりから生まれる経験が大きな魅力となっています。

ステップの運営は「ステーション」と呼ばれる、地域のピアノ指導者による独立会計のグループと支部が担っています。参加者、アドバイザー、実施事務局、それぞれがステップを通して地域の音楽活動を盛り上げています。

後援：文部科学省



提携コンクール



申込総数

29,713 件

※新規申込数: 7,649 件

対象コンクール・イベント

48 種類

地区数

356 地区

※うち新規 7 種類・7 地区
グランミューズ・サロン新規 9 種類・
17 地区

ピティナ会員や関係団体が主催するコンクールの申込受付代行サービスを提供し、ピアノ学習者がステージを経験する機会を全国各地で充足させています。参加者はコンペティションやステップ参加時と同様に「ステージポイント」を得ることができます。ステージ経験を積むモチベーションに繋がっています。また、それぞれの主催者がピティナと提携コンクールをメディアとして活用することで、多様なコンクールの発展をうながしています。2024年度は新たに二つの地域に根差したコンクールと提携しました。一つは「けいはんな音楽コンクール」。幼児から大人までが対象で、予選は動画審査、本選は会場審査で行われます。自由曲中心の選曲に加え、ブルグミュラー部門や丁寧な講評も特徴です。もう一つは「美里町遺跡の森ピアノコンクール」。地元の文化施設(遺跡の森館ホール)を会場に、本番同様のスタンウェイでの試弾会も開催されるなど、地域に愛される発表の場となっています。また、近年は「グランミューズ・サロン」の拡がりも大きいです。2024年度は主催者14名によって41地区で開催されました。おなじみのピアニストによる継続的な開催に加え、新たにグランミューズ会員が主催する会もあり、交流とピアノ演奏の継続を促す機会になっています。ピティナが主催するコンペティションやステップだけでなく、個別の特長を持った提携コンクールが加わってピティナのステージ総体を作り上げることで、多様な学習機会が保持され、新たな音楽の繋がりを生み出しています。



セミナー（セミナー広報支援、e ラーニング）



セミナー掲載数

650 地区

e ラーニングコンテンツ制作数

345 件

登録者数

5,214 名

※内 YouTube メンバーシップ登録者
504 名

ピアノ指導者の自己研鑽をサポートするため、ピアノ指導、コンクール課題曲に関する解説講座など、地域のニーズに応じたセミナーの広報支援を行っています。近年では、実地での開催に加え、リアルタイムでのオンライン配信や、後日配信をするなど、多様な形式でセミナーを開催しています。これにより、時間や開催場所にとらわれず、どなたでも学びやすい環境が整いつつあります。今後も、多くの方に多種多様なセミナー情報を届けできるよう、広報支援を進めてまいります。



e ラーニングは、場所だけでなく、時間や回数の制限なく受講できるサブスクリプション型の講座配信サービスです。YouTube メンバーシップでも e ラーニングのコンテンツを視聴できます。1カ月のみの利用も可能であり、2024年のコンペティション時期には過去最大の610名の登録がありました。年々、そのニーズは高まっています。

指導者ライセンス



開催数

50 地区

受検者数

のべ 650 名

※うち初受検: 63 名

全級合格者数

12 名

指導者ライセンスは指導実技・演奏実技・筆記試験・小論文の4種類の試験科目を通して、総合的な指導力の研鑽を支援する検定制度です。動画提出型やオンラインでの受検方法も整備されており、全国どこからでも受検しやすい環境が整っています。これまでに全国で延べ3,000名以上が受検し、日々指導力向上に励んでいます。



指導実技試験から派生した「レッスン見学」は、ベテランから若手まで多彩な講師による普段のレッスンを見学できる、実践的な学びの機会です。2024年度は全国45カ所で開催され、講師を中心に勉強会のようなイベントとしても広がり、参加者同士の交流や、新たなコミュニティが生まれる場となっています。

コンサート



コンサート登録数

1,113公演

※うち関係者のコンサート広報
支援数: 739公演

コンサート事業は、コンペティション・ステップ・ピアノ曲事典等のピティナの事業に関連して開催されるほか、学校・公共ホール・サロン・楽器店・オープンスペースなど公益的な活動も行われています。音楽との出逢い、多様な人々の交流を促進します。バラエティ豊かに全国各地で展開されたほか、海外公演への派遣など国際的な支援も行われました。コンサートによる地域協業の取り組みは、アーティスト・地域のコーディネーター・聴衆がともに価値を循環させる場となっています。

入賞者記念コンサート



コンペティションで優秀な成績を収めた演奏者への褒賞として開催されるコンサート。ソロ・デュオ部門、グランミューズ部門、A2級入賞者、全国各地の支部主催の入賞者記念コンサート、また特級入賞者には特級ガラコンサートや特級グランド・コンチェルトなど、多くの入賞者を称える舞台が用意されています。34公演を実施。



トークコンサート



各地のステップと同日・同会場でステップ参加者の演奏の合間に開催するベテランのアドバイザーによるコンサート。入場無料で充実した内容をお届けし、地域の方もどなたでも気軽に立ち寄ることができます。294公演を実施。



公開録音コンサート



ピアノ曲事典の演奏音源を増やすための収録現場を一般公開する連続コンサートシリーズです。2024年11月に通算300回を迎えました。

2024年度は19公演を開催し、259曲の新規音源を獲得しました。



学校クラスコンサート



小学校の音楽の授業へコンサートを届けます。音楽室の近い距離で生の演奏を体験し、楽器の周りに集まつたり演奏者と共に演するなど子どもたちの豊かな音楽体験を育みます。2024年度はべ54校（児童4,006名）にて実施。

提携コンサート

音楽祭やホール、オーケストラ等、外部団体と協力しながら推進するコンサート。ラ・フォル・ジュルネ東京丸の内エリアコンサート他、神戸市・大阪市等の自治体や企業団体と連携するなど23公演を実施。



OPEN PIANO PROJECT

2022 年に始動した「OPEN PIANO PROJECT」は、地域と人を音楽でつなぎ、ピアノの魅力と可能性を広げる取り組みです。2024 年度も自治体や企業との連携を深め、各地で多彩な活動を展開しました。

神戸市との協働によるストリートピアノ無料体験レッスンは 2 年目を迎え、5 会場で 24 名の子どもたちが参加。初心者を対象に、指導会員による 4 回のレッスンとミニ発表会を行い、地域の身近な空間で音楽に触れる機会を提供しました。

京都府庁「観桜祭」では、重要文化財の旧本館を舞台にコンサートを初開催。和楽器や朗読との共演を含む多彩なプログラムで、音楽と文化財の新たな魅力を発信しました。

広島市では、ストリートピアノ「紙屋町まちかどピアノ」を活用し、年間 3 回のキッズコンサートを開催。ピアノを学び、楽しむ子どもたちの発表の場として地域に根付いています。

沖縄県与那原町では、町民ラウンジでの昼休みコンサートを継続実施。町民のリクエストを取り入れながら、地域に開かれた音楽の場を広げました。

栃木県庁では「いちご王国・栃木の日」記念イベントにて、県内在住のコンペティション全国大会入賞者 7 組が「県庁 BerryPiano」で演奏。地域に根ざした文化活動として注目されました。

OPEN PIANO PROJECT は、ピアノを学ぶ人と社会をつなぐ架け橋として、誰もが気軽に音楽に触れ、自ら表現する楽しさを味わえる場を地域に広げています。習う・聴く・弾くといった垣根を越え、世代や経験を問わず音楽を共有できる機会をつくることで、文化としてのピアノを社会に根付かせ、多様な人々が互いに響き合い、豊かに表現し合える地域社会の実現を目指しています。



これまでの
レポート



角野隼斗 UPRIGHT PIANO PROJECT ～ Piano for Myself

2023 年 7 月に始動した「角野隼斗 アップライトピアノ・プロジェクト Piano for Myself」は、ピアニスト角野隼斗さんの発案・監修のもと、特別仕様のアップライトピアノを全国各地に届け、誰もが自由に演奏できる場を創出する取り組みです。2024 年 12 月をもって第Ⅰ期を終え、全国 17 か所で開催、のべ 3,000 名以上が演奏し、7,000 名を超える来場者を迎えるました。

各地では、地域特性を生かした独自の企画が展開され、寺院での瞑想体験や仏像展でのお経との即興演奏、ジャズフェスティバルや高校生主体の音楽祭など、多彩な形で“誰でも自由に弾ける”空間が実現しました。ピアノが地域に溶け込み、世代や立場を越えた交流が自然と生まれたことは、本プロジェクトの大きな成果です。

副題「Piano for Myself」には、「誰かのため」ではなく「自分自身の心と向き合う音楽」の価値を伝えたいという角野さんの想いが込められています。フェルトを仕込んだ特別仕様のピアノが生み出す柔らかく繊細な音色は、演奏者との対話的な体験を促し、音楽を“感じる”場として広がりを見せました。

2025 年度は第Ⅱ期（2025 年 6 月～2026 年 3 月）として、さらに多くの地域で展開予定です。ピティナは今後も本プロジェクトを通じ、音楽と人をつなぐ新たな価値を全国に届けてまいります。



アップライトピアノ
プロジェクト
これまでの
レポート



Vision

音楽がつなげる豊かな人生

「社会」という言葉を用いたビジョンを掲げる団体は数多くありますが、ピティナでは「一人ひとりの人生」に焦点を当てました。生徒一人ひとりの成長と日々向き合っている職業を支えていること、そして音楽は、そもそも社会的なインパクトの前に個人の内省的なインパクトが大きいものであるという考えを表しています。

「社会」は「一人ひとり」の集合体であって、「一人ひとり」が豊かにならなければ、「社会」の豊かさも生まれません。そしてその「豊かさ」は、人と人がつながることで生まれていきます。

音楽がこの「つながり」を生む媒体として非常に優れていることは、ピティナのネットワークが約18,000人の会員・650の活動拠点という規模まで発展してきた半世紀以上の歴史に見ることができます。

しかし、この豊かさがまだ届けられていない人もたくさんいます。音楽を通じた「つながり」をさらに多くの人に届け、一人ひとりの豊かな人生、ひいては社会の豊かさの実現を目指して、活動を拡充していきます。

Mission

1. 指導者が共に学び続ける場をつくる

創立当初から引き継がれる「教える人こそ学び続ける」という志のもと、指導者自身の成長を支える事業を推進・開発します。指導者一人ひとりの学びを促進する事業のうえに、地域ごとの指導者の学び合い、生徒と先生の学び合い、地域間での学び合いなど、様々な関係性の中でのつながりが広がる仕組みを構築し、全国に広げていきます。

2. 未来を拓く人をそだてる

ピアノ学習者一人ひとりのピアノに向き合うモチベーションは多様であり、ピアニストを目指し本格的に学ぶ人もいれば、純粋に楽しみとして弾く人もいます。それぞれの能力・個性・興味に応じたピアノとの向き合い方をサポートする事業を、多角的に展開していきます。そして、音楽を通じて磨いた素養をもって、音楽に限らず多様な分野で自らの人生を豊かに切り拓いていく人を育てます。

3. 地域コミュニティをつくる

全国の音楽人材が、民間教育・文化芸術の担い手として地域コミュニティに貢献していくよう、行政・学校・企業等の地域の組織との連携や、地域に入りやすいコンテンツ開発を推進していきます。複雑化する社会課題や孤独・孤立の様相を鑑みると、「地域」という単位の中でのつながりがより一層求められてきます。ピアノ・音楽というコンテンツを通して、地域の人々のつながりを強化します。

4. 時代の変化をとりいれる

社会課題の現場や異なる分野・セクターの情報を積極的に音楽教育業界に取り入れ、その時代に求められるピアノ・音楽教育のコンテンツ開発やシステム構築をリードします。個人事業主の多いピアノ指導者個人、あるいは「ピアノ」「音楽教育」という分野だけで豊かな社会を目指すのではなく、他分野・他セクターとの連携をはかり、ピアノ・音楽教育の果たす役割をアップデートしていきます。

|ご支援のお願い

READYFOR × 特級

2025年特級クラウドファンディング 応援を力に、 ピアニストの未来を共にサポート

ピアノコンクールの舞台には、演奏者と聴衆がともに息をのむ瞬間があります。

ピアニストは、定められたレパートリー、限られた時間、予期せぬ順番という試練を前に、ひとつひとつの音に自らの想いを込めて挑みます。

そして聴く私たちも、その音に心を寄せ、

「届け」「がんばれ」と願いを込めながら応援する——

その一瞬が、何ものにも代えがたい感動を生み出します。

2024年、皆さまからのご支援で、全国各地にピアニストたちの音が響き渡りました。

地域のホールや学校で、子どもたちが音楽と出会い、

特級受賞者たちが社会と繋がる機会を生み出すことができました。

また、聴衆が自らの「推し」を見つけ、応援する楽しさを実感できる

オンライン聴衆賞も、多くの方に参加していただきました。

遠く離れた場所からでも、ピアニストを支える「声」が届く。

そんな新しい応援の形が、少しずつ根付いてきています。

一人ひとりの挑戦を支えることで、

まだ見ぬ音楽、新しい表現が生まれ、

その先に広がる景色が、また次の誰かを育てていく。

あなたの応援がなければ、実現しなかった出会いがあります。

子どもたちにとっての「憧れ」や、

ピアニストが次の一步を踏み出す「きっかけ」が、確かにそこにあります。

多くの方に支えられ、羽ばたいたピアニストの音楽は、

また新たな挑戦者の背中を押す力となり、

その循環が、未来の音楽文化を育てていきます。

特級の歴史を紡ぎ、

「応援する力」を次の世代へ届けるために、

2025年度もクラウドファンディングに挑戦します。

今年も、ご支援・ご声援をどうぞよろしくお願ひいたします。



目標
金額

300万円(予定)

オンライン聴衆賞賞金
全国各地へのピアニストの派遣

※資金の使途として、クラウドファンディング手数料を含みます

※目標金額を超えてご支援いただいた場合は、本年を含めこれまで特級で優秀な成績を収めた入賞者たちの活動サポートに活用させていただきます。

実施期間：7.3 (木)～8月下旬

| 各事業への寄付受付

特級クラウドファンディング以外にも、ピティナの各事業へのご支援を恒常に受け付けております。寄付したい事業を指定してご寄付いただくことも、ピティナの活動全体へご寄付いただくことも可能です。

現在、公益性の高い5つの事業 「ピアノ教室紹介」「ピアノ曲事典、調査・研究、音楽研究所」「学校クラスコンサート」「ピティナ・ピアノコンペティション特級」「公益財団法人 福田靖子賞基金」の寄付を募集しております。

引き続き、音楽教育の発展と文化芸術振興にご協力いただけますと幸いです。

恒常的な寄付

クレジットカード決済

右の QR コードから必要事項を入力し、決済情報をご入力ください。



銀行振込

① 右の QR コードから寄付者情報・寄付金額等の情報をご申告ください。



② 以下の口座に①で申告した金額をお振り込みください。

振込先	三井住友銀行 巢鴨支店 普通 0634941 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会
留意事項	振込人名義の冒頭に、アルファベットで「CG」をつけてお振り込みください。

郵便振替

郵便局にある払込取扱票でご寄付いただけます。下記の必要事項を記入の上、お振込ください。

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00	00 140-4 96845	00 140-4 96845	00 140-4 96845
ビティナ催物口	料金	ビティナ催物口	料金
①ビティナ寄付 / ②ご寄付されたい事業を ご指定ください ③領収書発行希望 ④匿名希望	5000	5000	5000
おとこら(郵便番号 170-8458) 東京都豊島区巣鴨1-15-1 宮田ビル3F おなまえ ビティナ 太郎 様 (電話番号 03-3944-1583)	おなまえ 170-8458 東京都豊島区巣鴨1-15-1 宮田ビル3F ビティナ 太郎 様 (連絡手段) 日時 料金 備考		
此より下欄には何も記入しないでください。			

口座番号	00140-4-96845
加入者名	ピティナ催物口
金額	寄付金額をご自由に設定してください。

通信欄	①「ピティナ寄付」と明記してください。 ②支援する事業名をご記入ください。「ピアノ教室紹介」「ピアノ曲事典、調査・研究、音楽研究所」「学校クラスコンサート」「特級」「公益財団法人 福田靖子賞基金」の5つの事業からご選択いただけます。事業の記載がない場合は、事業指定のない寄付としてお預かりさせていただきます。 ③領収書発行をご希望の場合は、「領収書発行希望」とご記入ください。 ④ご芳名のウェブサイト等での公表を希望しない場合は、「匿名希望」とご記入ください。
	ご依頼人 寄付者のお名前・ご住所・ご連絡先を明記してください。

指導者賞による寄付

コンペティションまたはステップで優秀な成績をおさめられた指導者、また指導者として自己研鑽に励んでいる指導者を表彰し、受賞された皆様には、ピティナ会費（または入会費）として使用できる 10,000 円を指導者賞賞金としてご用意しております。こちらの賞金はご寄付いただくことも可能です。受賞者宛てにお送りする封筒にご案内と手続き方法を同封しております。

春の指導者賞	特級クラウドファンディングにご寄付が可能です。
夏の指導者賞	「ピアノ曲事典、調査・研究、音楽研究所」「学校クラスコンサート」「ピティナ・ピアノコンペティション特級」「公益財団法人 福田靖子賞基金」の4つの事業から1つを選択いただき、ご寄付が可能です。

会員として支援

会員・団体会員となることで年会費という形でピティナを継続的にご支援いただくことができます。

会員について

指導・演奏・研究・作曲・調律会員		家族・学生・支持会員	
入会金	3,000 円	入会金	3,000 円
年会費	7,500 円	年会費	6,000 円

※ ただし、正会員・グランミューズ会員は別途規定の料金

正会員		グランミューズ会員	
入会金	10,000 円	入会金	1,000 円
年会費	15,000 円	年会費	4,800 円

団体会員について

団体会員	
入会金	10,000 円
年会費	60,000 円／口



入会のご案内



団体会員のご案内

お宝エイド



ご自宅の不用品を換金して寄付する仕組み「お宝エイド」と提携しています。使わなくなった楽器・バッグや時計等のブランド品・はがきや切手などを、指定の住所に不用品を送付するだけでピティナへのご寄付になります。ご自宅のお片付けついでに、手軽にご支援いただける方法です。

寄付できる品物や手続きの詳細は、右下の QR コードからウェブサイトをご参照ください。



遺贈寄付

遺贈寄付とは、故人の財産から NPO などの活動団体に寄付することです。一般的には、財産の寄付を希望する方が生前のうちに遺贈寄付の意志を遺言に記す方法で、ご逝去後に寄付が実行されます。ピティナでは 2020 年より、専門家のサポートのもと、遺贈寄付の受入体制を整備しております。ご自身の人生で築かれた財産の一部を、音楽教育の発展や文化振興に寄与する形で残したいとお考えの方は、お気軽にご相談ください。





ピティナ・トピックス
@ptna.topics



ピティナ
ptina_web



ピティナ
@ptna_web



YouTube

ピティナ・ピアノチャンネル

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-15-1-3F Tel.03-3944-1583

最新情報は [ピティナ](#)